

初登頂・船越半島・霞露ヶ岳に登る



木々が生い茂る山頂



山田湾を望む

6月7日(日)、自分としては初めての山・山田町船越半島の霞露ヶ岳(かろがたけ)(507m)に登りました。

今回の登山は所属している釜石勤労者山岳会の6月月例ハイキングの企画。会では毎月ハイキングとそれより難易度が高めの登山の企画があり毎回10人前後の参加者で続けられています。自分の会員歴は45年、古参とも言える立場でかつてはリーダー役も担っていましたが、ここ数年来会が企画した登山には参加できていませんでした。久しぶりに参加した動機は「自分としては未踏の山」であったこと、農作業も比較的落ち着いて日曜日は時間がとれるようになったことがあります。

釜石中央インター近くのハローワークに第1次集合、乗り合わせて第2集合地の大槌町内のコンビニ、最終集合地の道の駅山田で全参加者22人が勢揃いし、4台に分乗して登山口に向かいました。この日はこの山で最も手軽な峠コースと呼ばれるルート、頂上までの標高差は260メートルで、計画ではゆっくりペースの1時間30分を見えています。

出発前のブリーフィングと体操の後、リーダーを先頭に9時30分にスタート、参加者が多く高齢の方も多いため、先頭のリーダーと最後尾のサブリーダーの間を逸脱しないルールを確認しマイペースで歩きます。10分ほど林道を進むと入山カウンターがありました。このエリアは三陸復興国立公園の一角、国の管理で運営されていることがうかがえました。

道は緩やかに主稜線に上っていきます。アカマツ林からコナラ林に変わって尾根に出ると木々の間から山田湾が望めました。よく踏まれた道が次第に高度を上げてブナがちらほら見えだし、ヒノキアスナロの若木も点在しています。

マイペースを許されていたのでピッチを上げて先頭に追いついた頃神社の入り口に着き、急な石段を上がって参詣、神社のすぐ上が頂上でした。少し残念だったのが「山背」の霧で展望がきかなかったことですが、頂上近くにもブナの大木があり太い木は胸高直径80cm、見事な樹勢で海岸線から2km足らずの山にこんな巨木があったことに驚きを覚えました。

寒かったので最終組を待たずに記念写真を撮って10時50分には下山開始。私は遅れてきた3人と山頂直下で合流し、もう一度頂上にたつてフォローしながら最終下山者となりました。

登山口には11時50分に無事到着、思い思いに昼食を摂り、最後は全員で感想を一言ずつ述べて反省会。毎回山行ごとにやっていて、山岳団体としてしっかりと運営されていることが感じられました。

久しぶりに参加した会の山行と初めての山に満足した登山となり、満ち足りた気分と同乗の4人を集合地まで送り届けることができました。

どんとはれ